

分野連携企画報告書

行事（企画）名 第34回バイオエンジニアリング講演会における
学会横断テーマ OS「少子高齢化社会を支える革新技術の提案」

行事URL <https://www.jsme.or.jp/conference/bioconf22/>

1.開催日・会場 2022年6月25日（土）～26日（日）・福岡国際会議場

3.企画内容

今後の少子高齢社会を支える技術についての研究について情報共有を目的とし、以下の研究者から現在までの取り組みについて紹介していただくOSを企画した。

井上剛伸（国リ八研） 「少子高齢社会を支える革新技術とは」

佐々木誠（岩手大） 「前頸部多点表面筋電図を用いた嚥下機能評価技術」

宮崎祐介（東工大） 「競技寿命延伸のための計測・計算融合型スポーツ外傷研究」

菊池武士（大分大） 「スマート構造による不整地歩行支援への基礎的検討」

4.連携の成果

バイオエンジニアリング部門からの演者の推薦に加えて、スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス部門から演者を紹介していただいたことで、すでに超少子高齢社会が進行している中で、今後重要となっていくと考えられる「健康の維持・健康寿命の延伸」を見据えるためのスポーツ障害を予防するための工学的対策についての取り組みについて講演をしていただくことができた。また、学会主要課題をテーマとしたOSであり、他部門に所属する方も聴講者として参加していただけたことで分野横断的な観点で議論することができた。

2.企画部門

バイオエンジニアリング(BE)部門、スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス(SHD)部門

5.今後の課題（苦勞した点、課題点、他の企画へのアドバイス等）

・テーマとして掲げた学会主要課題は工学だけでは解決できない応用課題であり、今後は問題意識を共有でき、かつ異なる視点・知見を持っている他分野の学会・団体などのとの連携を模索していく必要があると考えられる。

・本連携企画の予算の確定時期はもう少し早いとありがたいように感じられた。今回の企画においては、検討段階では本予算の当否が不明であった。もし検討段階でご支援いただくことが確定していたら企画の自由度はより高くできたと思われる。